

## 実施機関・協力機関

株式会社アースクリエイティブ、山口大学、  
アイ・シー・ネット株式会社

## 事業の背景

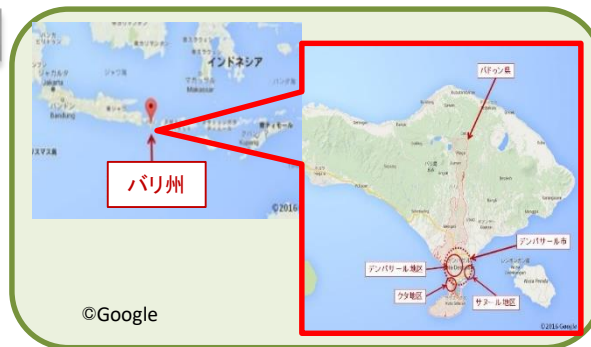
- バリ州は、インドネシア国にとって重要な観光地であり発展を続けている反面、その発展を支える観光客や州人口の増加、産業活動の活発化により、公的水域(河川や沿岸海域)における水質悪化が加速して、観光業への影響が懸念されている。
- 州は国の規制基準より厳しい基準を独自に設定し、ホテルなど大量の排水を放出する施設への立ち入り調査、違反施設への排出禁止措置などの強い態度で臨んでいるが、行政も施設運営者も、改善に向けた根本的な対策を取るための知識がなく、適切な対応がとれないなどの課題を抱えている。
- 現地の状況を理解した上で、排水施設運営者へ運営面、技術面の両方からのコンサルティングの実施と現地で使える省エネルギー・低ランニングコスト型の処理技術の普及が必要

## 事業の概要

- 日本の下水処理場で実績を持つ液膜曝気システムと現地向けに開発したIoT監視装置の導入による、低コストで安定した排水処理が可能となるメンテナンス技術の導入、普及を図る。

## 実施場所

- インドネシア  
バリ州  
(主にバドウン県)



## 導入する技術の概要

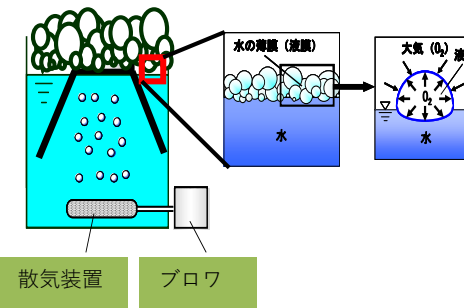
### <液膜曝気システムの特徴>

- 導入時の設置の簡便さと機材価格の低さ
- 電気使用量の低減効果による運用コスト
- DO値の上昇による活性汚泥の処理能力向上

### <IoT監視装置の特徴>

- クラウド上で監視データの確認可能
- 現地の状況に合わせたスペック変更の容易さ
- 現地通信環境に配慮した設計

液膜曝気システム



IoT監視装置

水質センサー  
取付部



現場通信装置  
設置状況



## 期待される成果・事業化展望

- 適正管理された排水処理施設の増加
- 行政官の指導力向上、施設管理者の管理能力向上
- 現地法人によるコンサルティングと適正技術の導入。バリ州バドウン県だけで600軒以上あるホテルに加え、大型商業施設、小中学校や病院などの3,000近い民間および公的施設にある排水処理施設をターゲットとする。